



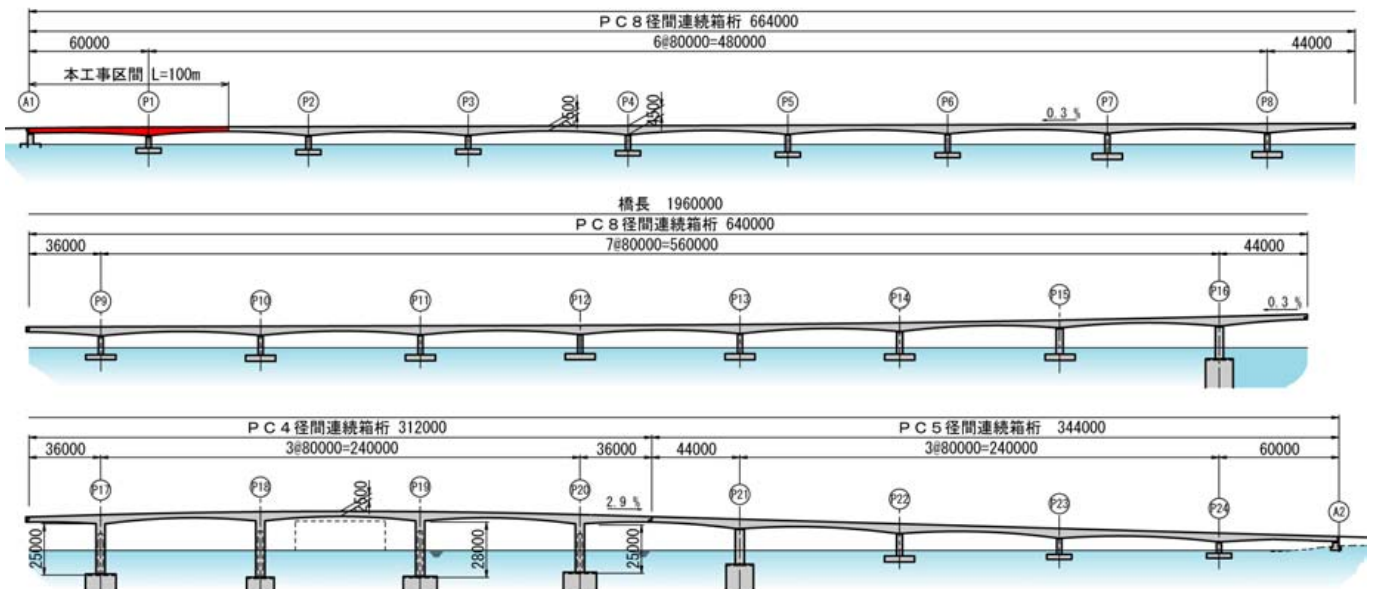
## こうりおおはし 古宇利大橋

古宇利大橋は、<sup>なきじんそん</sup>今帰仁村古宇利島と<sup>やがらじま</sup>名護市屋我地島とを結ぶ橋長 1,960m の離島架橋で、完成後は通行料のいらない一般道路の橋として日本最長となります。本橋は工期短縮、品質管理および施工性よりプレキャストセグメント工法が採用され、セグメント製作は、ヤードを縮小できるショートラインマッチキャスト方式となっています。

また、本橋は沖縄特有の海上橋であるため、100年以上の高耐久性を目指すための種々の方策を講じております。



### 一般図



### 橋梁諸元

工事名：古宇利大橋橋梁整備第7期工事（上部工その6）

発注者：沖縄県

設計者：(株)千代田コンサルタント・(株)大東エンジニアリング

位置：沖縄県国頭郡今帰仁村古宇利地先

道路規格：第3種第3級

形式：PC8 径間連続箱桁橋 × 2 + PC4 径間連続ラーメン箱桁橋 + PC5 径間連続箱桁橋

荷重：B活荷重

橋長：1,960m(664.0+640.0+312.0+344.0)

総幅員：11.25m（有効幅員：10.25m）

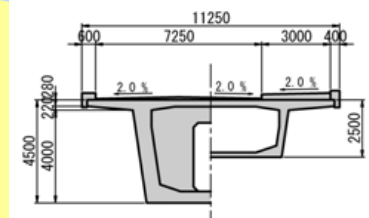
架設工法：張出し架設工法（プレキャストセグメント工法）

PC鋼材：主桁縦締め鋼材 SWPR7B 19S15.2（ディビダーク工法：外ケーブル）

SWPR7B 12S15.2（ディビダーク工法：内ケーブル）

床版横締め鋼材 SWPR7B 4S15.2（KTB工法）

### 断面図



## 構造・施工概要

### 1. プレキャストセグメント工法（ショートラインマッチキャスト方式）

本橋は、工程短縮、品質確保および施工性向上を目指し、プレキャストセグメント工法が採用されています。また、セグメント製作は、製作ヤードを縮小できるショートラインマッチキャスト方式が採用されています。

### 2. ミニмумメンテナンスPC橋

塩害対策を図ることにより「ミニмумメンテナンスPC橋」（最小限の維持管理で、最大限の長寿命化を図る）を目指し、以下の方策を講じて防錆機能が高められています。

- 1) 「塩害対策指針（案）」による鋼材かぶりおよびエポキシ塗装鉄筋の採用。
- 2) エポキシ塗装PC鋼材およびプラスチック製シースの採用。
- 3) 定着装置および偏向具等の鋼材も塩害対策仕様を使用。

### 例 景



セグメント架設状況



鉄筋組立完了（プレファブ鉄筋）



### 工程表

項 目	平成15年	平成16年						
	12	1	2	3	4	5	6	7
準備工	■							
セグメント製作工		■	■	■	■	■		
支承工					■	■		
柱頭部工					■			
架設工					■	■	■	
連結工						■	■	
グラウト工							■	■
片付け工								■